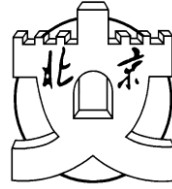


かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第6号
平成29年10月31日
校長 奥田 修也

「心」を起因とする、より良い生活習慣

北京日本人学校校長 奥田 修也

ほとんどの人には、朝起きてすぐあるいは寝る前に歯を磨く習慣があります。3度の食事の後に必ず磨くというのが当たり前になっている人も多いのではないのでしょうか。なぜ、その人たちには、そのような習慣が身に付いたのでしょうか。

歯磨きについては、自分で歯を磨くことができなかつた幼い頃、母親の膝の上に仰向けに寝かされて磨いてもらった記憶のある人がいることと思います。私自身も遠い遠い過去の記憶にある気がしますし、私の妻が子どもたちにそうしてやっていたのを見た記憶もあります。

そして、自分で磨けるようになって、最初はまわりの大人から「磨きなさい」と言われて嫌々磨いていたのが、いつのまにか言われなくても自分から磨くようになっていきます。それは、他人から「磨きなさい」と言われたいようにしたいから、あるいは虫歯になって痛い思いをしたくないから、という直接的な理由からだけではないようです。

本当に自分から進んで歯を磨く習慣のある人は、そのような外的な部分に基づく理由からではなく、もっと内なる理由、つまりそのような習慣を積み重ねることによって、歯を磨いた後の口の中の爽快感を知っているのだそうです。

かくいう私もそうです。恥ずかしくてこんなに多くの皆さんの目に触れるところで言えることではないかもしれませんが・・・、言ってしまうと、結婚する前の若い頃は、飲み会でお酒を飲み食事をとったあと、家に帰って（酔いも手伝って）歯も磨かずそのまま寝てしまい、次の朝を迎える、ということが何回もあったのでした。でも、今は違います、そんなことは絶対にできません。それどころか、何かを食べた後は必ず、何もつけない歯ブラシで歯垢をとらないと口の中が気持ち悪くて仕方ありません。別に清潔マニアではありませんが、ある時からブラッシングの後の口の中の清潔感には自分にとって必須の感覚になりました。文字で説明するのは難しいのですが、口の中がきれいになっている快感を知ってしまったのです。

このような内面的な動機から習慣化していることが、本当に習慣として身に付いたということなのだと思います。つまり、基本的な生活習慣というものは、外因的な理由からではなく内面的な「心」を伴ってはじめて本当に習慣として身に付いたことができるものなのです。

学校でも、温かみのある挨拶や廊下で会釈を交わし合う快さ、時間に遅れずに朝早く登校する爽やかさ、場に合った清潔感のある服装をすることの心地よさなど、その姿、形だけを求めるのではなく、その行為の内にある「心」と関連させて指導することが、生活習慣を確立していくうえでは大切なのだと思います。

本校の子どもたちの中には、そのようなことが当たり前身に付いている気持ちの良い子がたくさんいます。例えば昼休みの後に15分間で行っている清掃ですが、見ていると雑巾がけをはじめとして、掃除のいろいろな場面で子どもたちが本当に一生懸命取り組んでいる姿が毎日みられます。働くことを楽しみながら集中しているその姿には私などからみると一種荘厳な雰囲気さえ感じられます。（なんで、そんなに一生懸命できるの？）と尋ねたいほどです。でも、きっとそういう子どもたちは、逆に（なんでできないの？）と思うのでしょう。掃除してきれいになることに純粋な喜びを感じる、物事を進んでやることの気持ちよさを知っている、それは幸せなことですし、それが将来きっと大人としての心の骨格のひとつを形作っていくのだと思います。

今後も、そういう子どもたちの良さが周囲に伝播するようあらゆる場面をとらえて励ましていきたいと思っています。そしてその上に、将来のリーダーにふさわしい倫理観といったものを身に付けてくれるよう、本校の今年度校内研究のテーマである道徳教育を柱として子どもたちに関わっていくことが大切なのだと思う今日この頃です。



社会科見学を終えて

小学部 4 年

「教室で出たごみはどこにいったらどうなるのだろう？」

9月19日(火), 社会科「ごみのしよりと利用」の発展学習として, 北京の西部にある「ごみ処理場」へ見学に行ってきました。これまで, 教科書を使って, 日本での家庭や学校から出されるごみのゆくえや処理の方法を学習してきました。学習するにつれて自分たちの出しているごみの行方はどうなっているのか確かめたくなってきました。実際の見学では, 大量のごみのごみピットから運ばれていく様子や焼却する様子, 焼却する際に出る熱を利用して発電する設備に興味深く見学しました。また, 私たちの生活を陰で支えてくれているごみ処理場のスタッフや中国も日本と同じように環境保護のために様々な努力をしていることにも気付くことができました。このような体験活動を通して, ごみを減らすために一人ひとりができることを真剣に考え, 住みよい北京になるためにみんなで努力していきたいと思っています。



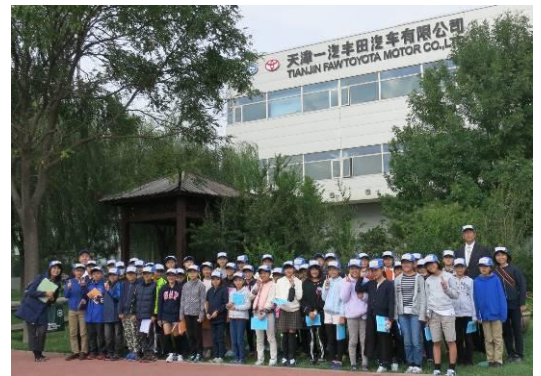
宿泊学習 in 天津

小学部 5 年

10月12日(木)から13日(金)にかけて, 天津に宿泊学習に行ってきました。

1日目

天津一汽トヨタ自動車工場で, 車の製造ラインを見せていただきました。事前に下調べをし, 疑問を整理してから見学に臨みました。見学を通して, 安全に, そして正確に作業を行っていることや, よりよい自動車をつくるために多くの工夫をしていることに気付きました。また, 実際に見学することで, 自動車産業への理解が深まったり, 興味が高まったりしたようです。夜はホテルでバイキング。お腹いっぱい食べました。



2日目

天津の「瑞景小学校」の児童と, 書道を通して交流しました。瑞景小学校は, 書道に力を入れている学校です。校庭にある石碑を見学した後, 校舎内では水筆体験をしたり, 授業を受けたりしました。筆の持ち方や文字の書き方など, 日本と中国では違うところがたくさんあることに気付きました。お別れの時間が近づくにつれて仲良くなり, 別れを惜しんで帰ってきました。

この2日間で, 集団行動の大切さも学んだようです。自分のことではなく, 人のことを優先したり, 時間を守ったりする姿にとっても感心しました。6年生に向けて, さらに成長できるよう支援していきたいと思っています。

ただいま 何人?

小学部			平成29年10月31日現在				
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	
1-1	8	8	16	4-1	13	10	23
1-2	9	8	17	4-2	12	10	22
1-3	8	8	16	5-1	15	10	25
2-1	9	9	18	5-2	15	11	26
2-2	8	9	17	6-1	9	10	19
2-3	9	9	18	6-2	9	8	17
3-1	14	9	23	小総計	152	129	281
3-2	14	10	24				

中学部							
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	
1-1	10	7	17	3-1	6	6	12
1-2	10	6	16	3-2	6	6	12
2-1	6	8	14	中総計	45	40	85
2-2	7	7	14	総合計	197	169	366